



令和4年11月15日 第863号

一般財団法人日本遺族会 千代田区九段南一丁目六番五号 電話 03-3261-5521 00160-6-25389 毎月1回15日発行 定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社 秋季例大祭を斎行 天皇陛下より御幣帛が奉納

10月17日から靖国神社で秋季例大祭が斎行された。18日の当日祭には、勅使により天皇陛下からの御幣物が献じられ、ご祭文が奏上された。当日祭には、靖国神社責任役員を務める水落敏栄会長も参拝し、英霊の御霊に感謝の誠を捧げた。

みんなで参拝 国会議員90人が参拝

10月18日、超党派「みんなで参拝 国会議員90人が参拝」の参拝者減少の兆し頭著にみ参。大祭前、期間中の関係者の参拝は、西村康稔経済産業相、高市早苗経済安全保障担当相の2人にとどまった。岸田文雄総理大臣、加藤勝信厚生労働大臣、尾辻久久参院議長は真禰を奉納した。議院設立以来初の参拝



逢沢副会長(右から2人目)を先頭に本殿へと向かう「みんなで参拝国会議員の会」=10月18日、靖国神社で

昭和56年259人の会員で結成された同議連は、平成20年頃までは、少なくとも150人前後の参拝者を数えたが、その後減少の一途を辿り、ついに100人を切る事態となった。過去参拝者が200人

みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会 参拝状況 令和4年10月26日現在

Table with columns: 年次 (Year), 参拝者数 (Participants), 参拝者数 (Participants), 参拝者数 (Participants), 参拝者数 (Participants). Rows list years from 昭和56 to 令和4, showing a general decline in participants over time.

中止となった終戦の日から2ヶ月余り、集団参拝は実施されたが、参拝者の少なさは深刻な事態だ。加えて前会長の尾辻参院議長に代わる会長が定まらないのも懸念される。一方で、本会設立初期から長年副会長を務められた逢沢副会長の孫である逢沢一郎衆院議員が副会長に、中野英孝衆院議員(埼玉)遺族連合会青年部長)が事務局次長に就任されたことは心強い。昭和56年259人の会員で結成された同議連は、平成20年頃までは、少なくとも150人前後の参拝者を数えたが、その後減少の一途を辿り、ついに100人を切る事態となった。過去参拝者が200人

春祭例大祭に続き2日間、短縮された。は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、秋雨中、行われていた。参拝式、草履式献花展、奉納菊花展などの奉祝行事が開催され、参拝客の目を惹きました。

当日祭には、山口建史宮司以下の神職が本殿に進み、献饌のち、宮司が祝詞を奏した。靖国神社責任役員として、水落敏栄本会会長も参拝して、玉串を捧げた。



水落敏栄氏

政府は令和4年秋の叙勲及び褒章受章者を発表したが、栄章に輝いた本会関係者は次の方である。

水落敏栄氏(79歳) 日本遺族会会長・前参議院議員

福居 夫(81歳) 日本遺族会評議員 埼玉県遺族連合会副会長

「高齢者の日常事故防げ」という新聞の見出しが目が留まった。東京消防庁によると、日常生活のけがなどにより救急搬送された人は、過去5年間の年平均で約13万5千人に上り、その半数以上が65歳以上の高齢者で占められていくという。高齢者が最も目立つのが「転倒」で、令和2年に搬送された7万6707人のうち8割以上に当たる5万5千人超に上っており、その発生場所は「居住場所」で59.4%と6割近くに達し、原因の多くは、小さな段差や階段などだったという。浴槽などで「おぼれる」事故も、2年は計4544人の高齢者が救急搬送されている。これから寒くなる冬場に多く発生しており、約9割が命の危険にさらされているとされている。普段から長風呂の人は「入浴時は家族に知らせ家族はこまめに声をかけてほしい」といいたい。また、「筆息誤飲」事故でも、2年は1610人の高齢者が救急搬送されたという。窒息の危険があり、食品や包み、袋など様々なものが原因となっている。同庁は「小さく切って、よく噛んでから飲み込んでほしい」としている。▼三つの事例を挙げたが、これからの時季、一つでも思い当たる節がある方は気を付けて。自分は大丈夫と思っている方は、過信しないでほしい。(M)

▲旭日双光章 横田 久氏(84歳)

▲謹 哀悼 岸田孝氏 日本遺族会元評議員、滋賀県遺族会顧問。9月23日、逝去。82歳。葬儀は高島市・JAやすらぎホールで行われた。喪主は長男和彦氏、三國隆徳氏、日本遺族会元理事、新潟県遺族会会長。会葬は10月10日、逝去。90歳。葬儀は新潟市・セレストーホール空港西で行われた。喪主は長男勇氏。

「高齢者の日常事故防げ」という新聞の見出しが目が留まった。東京消防庁によると、日常生活のけがなどにより救急搬送された人は、過去5年間の年平均で約13万5千人に上り、その半数以上が65歳以上の高齢者で占められていくという。高齢者が最も目立つのが「転倒」で、令和2年に搬送された7万6707人のうち8割以上に当たる5万5千人超に上っており、その発生場所は「居住場所」で59.4%と6割近くに達し、原因の多くは、小さな段差や階段などだったという。浴槽などで「おぼれる」事故も、2年は計4544人の高齢者が救急搬送されている。これから寒くなる冬場に多く発生しており、約9割が命の危険にさらされているとされている。普段から長風呂の人は「入浴時は家族に知らせ家族はこまめに声をかけてほしい」といいたい。また、「筆息誤飲」事故でも、2年は1610人の高齢者が救急搬送されたという。窒息の危険があり、食品や包み、袋など様々なものが原因となっている。同庁は「小さく切って、よく噛んでから飲み込んでほしい」としている。▼三つの事例を挙げたが、これからの時季、一つでも思い当たる節がある方は気を付けて。自分は大丈夫と思っている方は、過信しないでほしい。(M)

令和5年版 靖国カレンダーを 家庭にかかげましょう

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう

令和3年靖国神社みたままつり (毎年7月13日~16日)

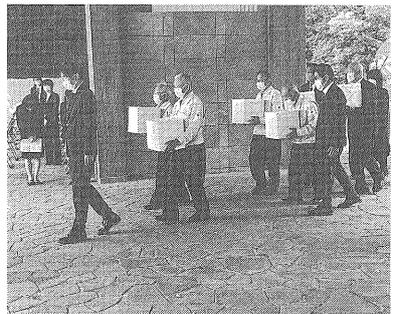
硫黄島から21柱奉還 青年部参加者も増え活動期待

日本戦没者遺骨収集推進協会(推進協会)は、9月26日から10月13日の期間で硫黄島遺骨収集第2次派遣を実施した。本派遣は、第1次派遣で団員にコロナ感染者が発生し、作業が途中で中断されたことを踏まえ、推進協会が新たに策定した感染拡大防止にかかわる基本要領に基づき防止対策を万全にした派遣となった。

硫黄島遺骨収集第2次

派遣は、本会から4人が参加協力し、その他硫黄島協会の小笠原村在住硫黄島旧島民の会、JYM A日本青年遺骨収集団等社員団体の参加者総勢27人の団員で構成された。派遣団員は全員、渡島する2日前の9月26日に埼玉県狭山市内のホテルに宿泊してホテル室内で自主隔離し、出発前日及び出発当日に抗原検査

キットによるチェックで全員陰性と確認されてから、28日に入団基地を出発し、硫黄島に入島した。翌日に再度抗原検査チェックを行い、30日から収容作業に入った。近、日ノ出浜付近、南部落付近で遺骨の収容にあたり、壕内及び地表にある遺骨は長い年月とともに土砂等の堆積物に埋没しているため、団員は細心の注意を払って、遺骨の発見に努め、19柱を収容した。



ご遺骨を捧持し、引渡式に向かう団員
=10月13日、千島ヶ淵戦没者墓苑で

本会への 賛助金のお礼

本会への賛助金にご賛同いただいた左記の方々に対し、お礼申しあげます。なお、都道府県名については、送金方法により居住が特定できない場合がありますので省略する。

賛同名名 敬称略、カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等

藤原健三郎、名倉武雄、鎌田敬一、兼村正美、米田寛、荻野和子、廣明研正、古岡裕朗、加藤順

日本遺族会への賛助金のお礼

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の遂行にご理解を賜り何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

一政代志子、中原一紀、大坪徳廣、石井義平(以上、10月1日から10月末日まで)

なお、都道府県名については、送金方法により居住が特定できない場合がありますので省略する。

一政代志子、中原一紀、大坪徳廣、石井義平(以上、10月1日から10月末日まで)

慰霊友好親善事業

実施三十周年記念誌頒布

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業が、実施30周年を迎えたことを記念し、同事業実施三十周年記念誌を

発行し、(限定)100冊を記念誌は、戦没者遺児の積年の願であったことを記念し、同事業実施三十周年記念誌を「父への慰霊」と現地で「友好親善」を記録する

慰霊友好親善事業

遺児の参加者募集

募集要項は次の通り。時期及び地域 実施計画概要参照。参加費 10万円。※東京等に集合し、結

隊式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から個人負担となる。参加資格 戦没者の



記念誌のトラック諸島、パラオ諸島とメロン(ウォレアイ)環礁の一部抜粋



お父さんへ
「慰霊友好親善事業・実施三十周年記念誌」係
フックス・0303
2619191まで
▼必要事項
氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、購入部数
申込後、本会より振込用紙を送付するので振込手数料については、本人負担をお願いします。
記念誌の発送は、入金確認後となりますので、ご了承願います。

各地域の主な入国制限等について

地域	安全危険レベル	日本からの入国制限等
1 東部ニューギニア	1-2地域により	スマートフォンにて「Health Declaration Form」(健康申告書)を事前登録訪問予定地の地域の一部ではコロナ感染対応の医療機関がない
2 台湾・パシフィック	-	入国後7日間の自主防疫(入国当日、その後2日おきに陰性検査)
3 西部ニューギニア	1-2地域により	スマートフォンにて「PeduliLindungi」(防護申告書)を事前登録入国時の検査手続きには、ファストトラックの利用訪問予定地の地域の一部ではコロナ感染対応の医療機関がない
4 ミャンマー	2-3地域により	スマートフォンにて「Health Declaration Form」(健康申告書)を事前登録、入国後RDT検査(48時間以内に実施した迅速診断検査の陰性証明書の提示)訪問予定地の地域の一部ではコロナ感染対応の医療機関がない
5 マリアナ諸島(延期分)	1	グラム入国前にスマートフォンにて「検問申告書」を取得サイパン入国前にスマートフォンにて「travelers health declaration」(旅行者健康宣言書)を事前登録
6 フィリピン	1-3地域により	スマートフォンにて「ARRIVAL CARD」(渡航情報申告書)を事前登録訪問予定地の地域の一部ではコロナ感染対応の医療機関がない
7 中国	1	出国2日前及び2時間以内のPCR検査の実施の上、健康コードの取得、申請入国後の7日間+3日間の隔離等(隔離等の対応は各省等により異なる)現在、北京や上海など、主な主要都市への航空機は運休及び減便となっている

※各国のコロナ感染危険レベルは1となった。10月19日(上記)までは安全危険レベルを記載
※出入国にあり基本的にワクチン3回接種証明書(英語版)の提示
※日本帰国にあたり「My SOS」アプリを事前登録(強制的にスマートフォンが必要)
※海外旅行にあたっては、コロナ対応保険等に加入することを推奨
※各国の新規感染者数等については、多くが不透明
上記内容等については、各旅行業者等より情報を得て作成

実施計画概要

(広域地域/特定地域)	実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1	台湾・パシフィック	令和5年2月9日~2月15日	30人	12月9日
2	西部ニューギニア(特定地域)	令和5年2月16日~2月25日	36人	12月16日
3	ミャンマー(特定地域)	令和5年2月28日~3月8日	36人	12月23日
4	マリアナ諸島	令和5年3月2日~3月8日	40人	12月27日
5	フィリピン(2次)	令和5年3月10日~3月17日	120人	1月10日
6	中国	令和5年3月22日~3月30日	80人	1月20日

